

ガバナーのつぶやき(9月)

7月29日(金)に始まったガバナー公式訪問も、9月10日(土)サントピア総社で開催された6R・2Zの公式訪問を以て終了、まずは一段落というところですよ。そもそも、公式訪問とは、地区内のゾーン・クラブを公式に訪問し、地区運営の基本方針を説明し、クラブ運営のあり方を直接指導する事にあります。そういった意味では、ここ2〜3年満身に訪問できていなかった事を思えば、早い段階で大多数のクラブの皆様と話しが出来て良かったと思います。そして、公式訪問を通して皆様から頂戴した諮問事項や多くの提言を活かしつつ、クラブ・地区の発展に寄与したいと心を新たにしました次第です。

(本音：疲れたナー、随分しゃべったナー、随分移動したナー……)

ガバナーのつぶやき(10月)

公式訪問が終了し、次に控えるのは15.クラブに及ぶ周年事業。今年度は当たり年で9月に2クラブ、10月に4クラブ、11月に5クラブ、来年の5月に2クラブ、6月に2クラブの合計15クラブが周年を迎えます。コロナ禍で式典や記念祝宴を取止めたクラブも幾つかありますが、その他は何れも記念誌掲載用の祝辞、記念式典での祝辞の依頼があります。ここで困った事が出てきます。祝辞原稿を書いたり祝辞を述べるのは良いのですが、大抵どのクラブの式典には、例外なく地元出身の国会議員の先生、知事、市長の方々が名を連ね、同じような祝辞を書かれていたり、祝辞を述べられたりするのです。祝辞の出典は同じなのでいたしかたがないと思うのですが、ガバナーの出番は最後の方なので、同じ内容とならないようにと気を使うのですが、何をしゃべっているのか戸惑うばかりです。このあたり何とかならないかなと思います。誰か良い知恵を授けて下さい。お願いします。

ガバナーのつぶやき(11月)

ガバナーに就任してはや、ヶ月が経過、その間、2回のキャビネット会議とガバナー協議会、公式訪問や周年事業も順調にこなしたものの、たえ

ず心の中で気になっているのは本年度国際本部に提出した地区目標の進捗状況です。私の掲げる地区目標は、過去6年間減少傾向にある会員数の純増(30名)を達成する事、MY Lionによるクラブによる奉仕報告率を上げる事(70%以上)、指導力育成ではZC及びクラブ役員対象の研修を実施し100%の参加率を目指す事、LCIFで70クラブ以上が100%の会員参加で財団を支援する事が主な内容となっています。その中でも特に本年度全世界で取組みがスタートしたGMAに関連する会員動静の状況です。年度初めに一つの支部が解散し来年の年度末には一つのクラブの解散が決まっています。第一四半期終了時点では、新会員の入会72名(目標60名)、退会56名(目標40名)と何とか純増会員数は16名のプラスとなっていますが、年度末には一挙に退会者が増加する傾向もあり予断を許さない状況にあります。会員Lの減少は、奉仕のインパクトの低下やクラブ運営、奉仕のマナー化やリーダーシップの醸成が困難になるなど多くの影響が懸念される所です。残りの期間、全てのクラブで会員増強に向けての取り組みが行われるよう働きかけていかねばと思っています。

ガバナーのつぶやき(12月)

今年度もはや12月となり任期の半分が経過しようとしています。そのような中、各クラブやゾーンに訪問した際によく聞かれるのが、“最近やたらと横文字が出てきて、私たち年寄りには何の事か理解できない”という言葉です。

確かに毎年の様に新しい言葉が出てきています。昨年にはGMAIIグローバル・メンバースhip・アプローチ(会員増強に特化した取組み手法)が新しく加わりましたし、今年の後半にはGEEIIグローバル・エクステンション・チーム(クラブ結成チーム)が加わります。

私たちも会議に出席すると、数多くの横文字を聞く事になるのですが、ライオンズクラブの始まりがアメリカであり、国際本部もアメリカにあり、言語として英語が使用されていることから横文字が出てくるのは当たり前前の事で、私たちにとってみれば仕方のない事だと思えます。

これを解決する方法は、“習うより慣れる”かもしれません。